

# GAKUTOのPOINT 倍の計算

「倍」の概念は、子どもにとって理解の難しい内容の1つだといわれています。一方で、「単位量あたりの大きさ」や「割合」の学習にもつながる重要な内容の1つでもあります。

そこで、3年以上では、「倍」の概念を学習する内容を、通常の単元とは別に特別単元として位置づけ、整数、小数、分数のかけ算やわり算の学習のあとに、重点的に学習できるようにしています。

## 2年

2年で初めて、「倍」について、「いくつ分のことを〇倍」ということを学習します。

2年下 p.10

## 3年

3年では、「くらべられる大きさ」が「もとの大きさ」の何倍かを求める活動を通して、「倍」の概念に対して理解が深まるようにしています。

3年上 p.54-55

## 6年

6年では、さらに分数倍へ拡張し、「倍」概念の定着を図ることができるようにしています。

6年 p.126-127

## 5年

5年では、小数の小数倍についても、これまでと同じように「倍」の概念で考えられることを学習します。

5年上 p.128-129

## 4年

4年上 p.105-107

4年上 p.138-140

4年下 p.98-99

4年では、5年で扱う「割合」への接続を考え、「もとにする大きさ」を1としたとき、「くらべられる大きさ」がいくつにあたるかを「倍」ということを学習します。また、「かんたんな割合」についても「倍の計算」の単元で扱うことで、「倍」が「割合」の1つの表現であることを理解できるようにしています。